

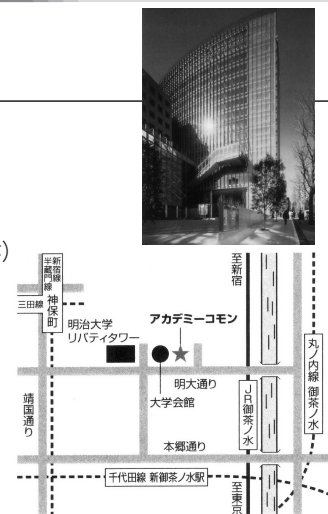
2024年度秋期 リバティアカデミー (社会人講座) 開講のご案内

※秋期講座は「Zoomによるリアルタイム配信型」のみの実施となります。
受講方法・お申込方法等の詳細は、リバティアカデミーHPでご確認ください。

お申し込み・お問い合わせ

明治大学リバティアカデミー

平日 10:30 ~ 19:00
土曜 10:30 ~ 15:30 (日祝休業)
TEL 03-3296-4423
FAX 03-3296-4542
Mail academy@mics.meiji.ac.jp
URL <https://academy.meiji.jp>
〒101-8301
東京都千代田区神田駿河台 1-1
明治大学駿河台校舎
アカデミーコモン 11 階



社会保険労務士総合研究機構後援講座

人手不足と人権、DX 時代の働き方・働かせ方

講座趣旨

「働き方改革」、「ハラスメント防止」、そして昨今の人手不足など、働くことをめぐる社会環境は大きく変わってきています。それだけではありません。DXが叫ばれ、国をあげてデジタル化への取り組みも加速化していますが、生成AIをめぐっては様々な問題が浮上しています。加えて少子高齢社会＝人口減少傾向にブレーキがかかっていません。このように、新しい産業と技術、新しい多様な働き方など、経営環境はこれまで体験したことがないほどに変貌してきています。

しかし経営環境がいかに変化しようとも、企業競争力の源泉が従業員の力量であることには変わりません。敢えて違いを言えば、効率性や経済性という視点の一边倒ではなく、社会と人権という視点が不可欠ということです。

国連も「ビジネスと人権」を重要課題としている時代です。従業員の人権を基礎において、彼らの意欲と力をどう引き出していくのか、これが問われているわけです。経営環境の激変の中で、これからの働き方・働かせ方をめぐる諸課題について考えます。

講座概要

コーディネータ	黒田 兼一 明治大学名誉教授
曜日	水曜日・金曜日
時間	19:00~20:30
定員	30人
回数	全6回
受講料	一般: 22,800円(税込)
教材	オリジナルレジュメ

申込方法

明治大学リバティアカデミー
HPよりお申込みください。



回	講義月日	内容	担当講師
1	10/16 (水)	【講座ガイダンス】人手不足、DX、ビジネスと人権、混迷する働かせ方 少子高齢化、人手不足、DX、ハラスメント、過労死・過労自殺、LGBTなど、一見してバラバラのように見えるこれらですが、人の働き方・働かせ方に大きな影響を与えています。企業は何を足場にしてこれらの諸問題に対応していけば良いのでしょうか。	黒田 兼一
2	10/23 (水)	社員の自律と生産性を高める「相思相愛な風土」の創り方～ロジックと聴く技術～ 人手不足と人権は相関します。皆「自分を大切にしてくれる」職場で働きたいからです。では、どうすれば？それには相手の話を「聴く」ことです。本講座では具体的な「聴き方」や、なぜ「聴く」が大事なのか？をお伝えします。	平田 未緒
3	10/30 (水)	ハラスメント問題の取り組み方 一なぜ起きる、どう対処するかー 仕事上のハラスメントに対する国際的・国内の法規制が変わってきています。人権問題であるとともに、少子化・人材不足の今、ビジネス上も防止の取組みは喫緊の課題です。指導・コミュニケーションのあり方を含め、一緒に考えてみましょう。	内藤 忍
4	11/6 (水)	介護職場の事例 実践！介護事業所の人事労務課題とその解決策 介護職員処遇改善加算に象徴される複雑な人事労務課題の解決事例を具体的に解説します。	三島 幹雄
5	11/13 (水)	メンタルヘルスとエンゲージメント 予防医学の視点から労働意欲向上とメンタルヘルスの両立支援を考えていきます。	岩元 健一郎
6	11/22 (金)	【全体のまとめ】人手不足とDX時代、かわる仕事の形とこれからの人事労務管理 『ジョブ型雇用が進展する』といえは仕事の範囲が限定されるような印象を受けますが、実態は範囲が広がり内容が深まっています。それがなぜなのか考えてみましょう。	山崎 憲

コーディネータ・講師紹介



くろだ けんいち

黒田 兼一

コーディネータ 明治大学名誉教授

明治大学大学院経営学研究科修了。専門は人事労務管理論。自動車産業を中心に、戦後日本企業の人事労務管理を研究。1992年から1年間イギリスに、2002年から2年間アメリカに滞在し、現地日系企業の人事労務管理と労使関係を調査。現在は日本の人事労務管理の「これまで、いま、これから」に焦点をあてた研究に取り組んでいる。最近の著書に『戦後日本の人事労務管理』（ミネルヴァ書房）、『フレキシブル人事の失敗—日本とアメリカの経験』（旬報社）、『人間らしい「働き方」・「働かせ方」』（ミネルヴァ書房）など。



ひらた みお

平田 未緒

(株)働きかた研究所 代表取締役

1996年より人材企業のシンクタンク「人と仕事研究所」にて、多様な企業の経営側・働く側双方のインタビューを継続。人が定着し業績につながる組織は、両者が互いの声を聴きあい尊重しあう「相思相愛」な風土であることを発見。2013年に独立後は、クライアント企業にて相思相愛な共創の風土を醸成し、企業目的の実現を助ける、人事コンサルティングを継続。『パート・アルバイトの活かし方・育て方 (PHP研究所)』等の著書があるほか、社会保障審議会「年金部会」委員（現職）など公職経験も多数。



ないとう しの

内藤 忍

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 (JILPT) 副主任研究員

早稲田大学法学部・大学院法学研究科博士後期課程を経て、機構へ。2010年、英ケンブリッジ大学法学部客員研究員。2020年より日本学術会議連携会員。ジェンダー法学会理事。専門は労働法、特に、職場のハラスメント、ジェンダー法、差別禁止法制。厚生省や自治体、労働組合などのハラスメントやジェンダー関係の委員を務める。現在、明治大学大学院経営学研究科で「ADR論」（代替的紛争処理論）、お茶の水女子大学で「労働法」を担当。



みしま みきお

三島 幹雄

サードプレイス社会保険労務士法人 特定社会保険労務士

獨協大学外国語学部卒業。大手介護企業の人事部門を経て、29歳で社会保険労務士事務所を開業。介護企業での経験をベースに介護事業者に対し実践的なアドバイスを提供している。「特定技能」ビザを活用したクリーンな形での外国人介護職員の就労支援にも積極的に取り組んでいる。著書『介護職員処遇改善加算取得・活用ハンドブック』（日本法令）。



いわもと けんいちろう

岩元 健一郎

TRUST&BLOOM代表
公認心理師・精神保健福祉士

筑波大学大学院人間総合科学研究科修了。明治大学商学部卒業後、IT企業と専門商社を経て、民間の相談機関や就労支援・生活訓練事業所、国立精神・神経医療研究センター（認知行動療法センター・NCNP病院）、慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室において心理臨床や研究に携わってきた。現在は企業の役職員を対象とした相談支援や研修ならびに地域住民を対象にしたメンタルヘルス啓発活動に従事している。



やまざき けん

山崎 憲

明治大学経営学部准教授

2010年から2017年まで中央大学法学部兼任講師。1967年生まれ。博士（経営学）。2003年から2006年に外務省専門調査員として在デトロイト日本国総領事館に赴任。著書に『働くことを問い直す』（岩波書店、2014年）、『デトロイトウェイの破綻—日米自動車産業の明暗』（旬報社、2010年）、『フレキシブル人事の失敗—日本とアメリカの経験』（黒田兼一との共著、旬報社、2012年）、『仕事と暮らしを取りもどす—社会正義のアメリカ』（遠藤公嗣、筒井美紀との共著、岩波書店、2012年）ほか。